

平成20年度 市政世論調査結果報告書

概要版

はじめに

本市の市政世論調査は昭和45年に実施して以来、今回で39回目を迎えます。

市政世論調査は市民各層の行政ニーズを的確にとらえ、行政施策に反映させていくために継続して実施しているものです。

今回は「暮らしや居留意向について」「市からの情報について」「越谷市のイメージと将来像について」「男女共同参画について」「地球温暖化対策について」「職員の対応について」「越谷市健康づくり行動計画『いきいき越谷21』について」「住宅用火災警報器の設置に関することについて」「越谷の農業特産物について」「越谷の物産・観光について」「スポーツ・レクリエーションの実施状況について」「市の施策について」の各テーマにおいて、市民意識の把握に努めました。

今回の調査で、すべてのニーズや問題点が解明されたわけではありませんが、調査の結果を今後の市政運営の参考資料として活用しながら、市民の期待に応えられるまちづくりや、行政サービスを推進して参りたいと考えております。

ご多忙にもかかわらず、市政世論調査にご協力をいただきました市民の皆様にご心より御礼申し上げます。

平成20年12月

越谷市長 板川 文夫

調査の概要

調査地域	越谷市内全域
調査対象	市内在住の20歳以上の男女
対象者数	5,000人
抽出方法	住民基本台帳より無作為抽出
調査方法	郵送法(郵送配布・郵送回収)
調査期間	平成20年6月20日～平成20年7月8日
回収結果	回収票数 2,120(42.4%) 有効票数 2,120(42.4%)

本調査報告書(概要版)の見方について

調査結果の比率は、その回答者数を基数として、小数第2位を四捨五入して算出している。四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合がある。

複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常100%を超える。

図表中の「n」とは、その設問への回答者数を表す。

選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いている。

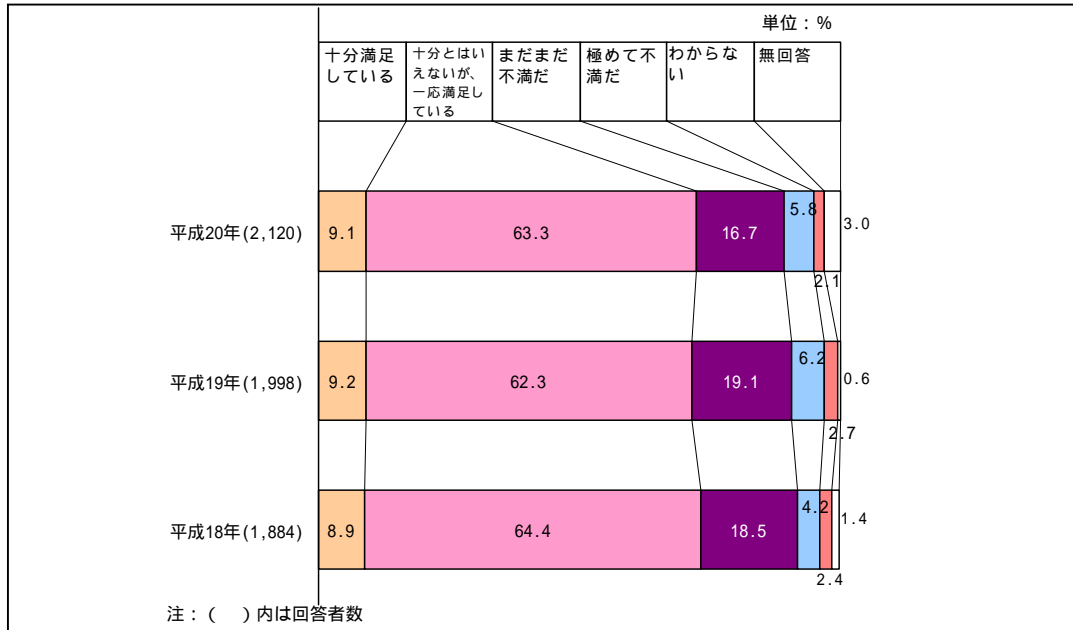
暮らしや居住意向について

現在の暮らし向き

満足している人の割合がほぼ横ばい

現在の暮らし向きについて、「十分とはいえないが、一応満足している」(63.3%)が最も多く6割強を占め、次いで「まだまだ不満だ」(16.7%)が多くなっています。現在の暮らし向きについて満足している人の割合は、平成18年度73.3%、平成19年度71.5%、今回調査では72.4%となっています。

問8 あなたは現在の暮らし向きについて、どのように思っていますか。

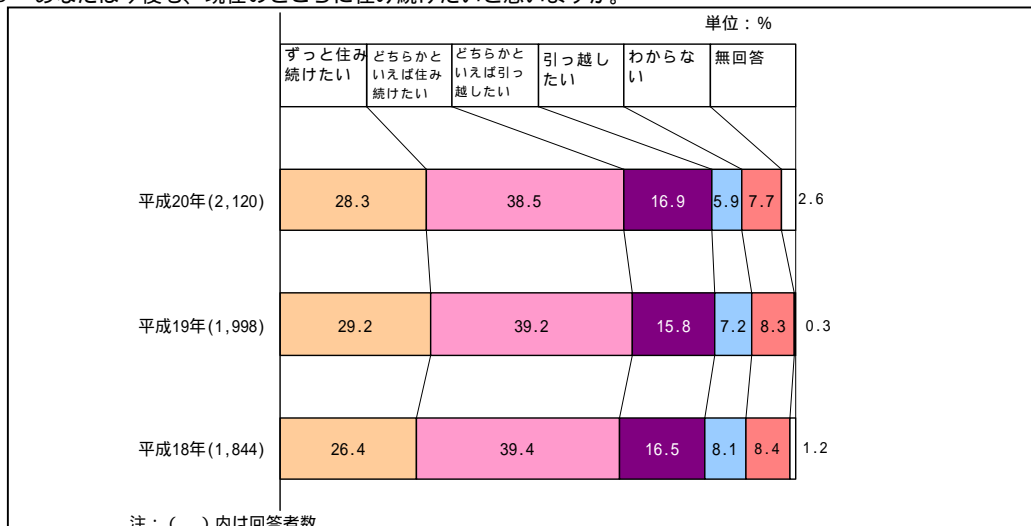


今後の居住意向

住み続けたい人の割合がほぼ横ばい

今後の居住意向については、「どちらかといえば住み続けたい」(38.5%)が4割弱を占め最も多く、「ずっと住み続けたい」(28.3%)が続いています。住み続けたい人の割合は、平成18年度65.8%、平成19年度68.4%、今回調査では66.8%となっています。

問9 あなたは今後も、現在のところに住み続けたいと思いますか。



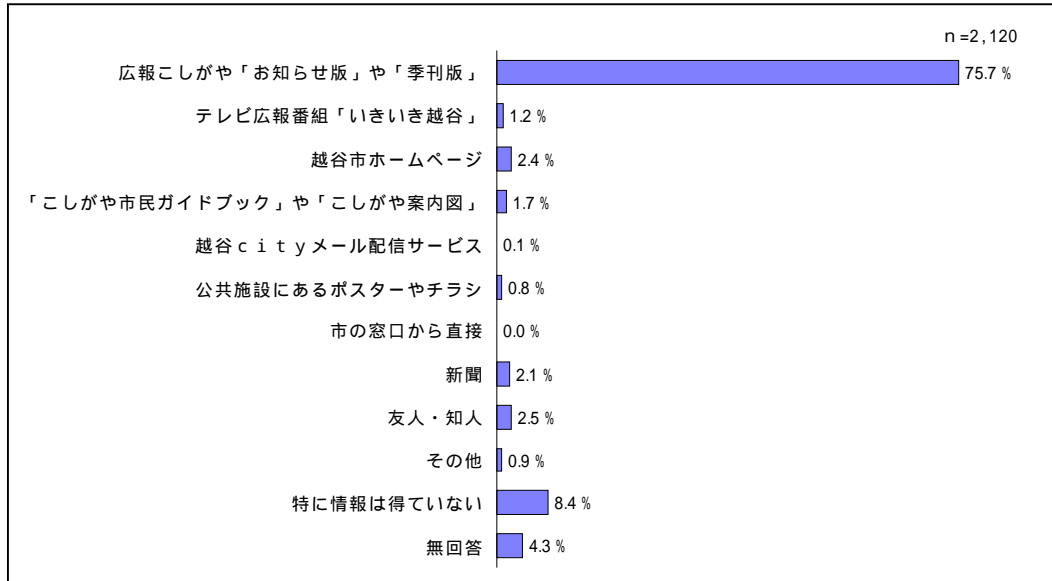
市からの情報について

市からの情報の入手先について

「広報こしがや『お知らせ版』や『季刊版』」が最も多い

市からの情報の主な入手方法については、「広報こしがや『お知らせ版』や『季刊版』」(75.7%)が最も多く7割を超過しています。

問 10 あなたは、市からの情報を主に何から得ていますか。



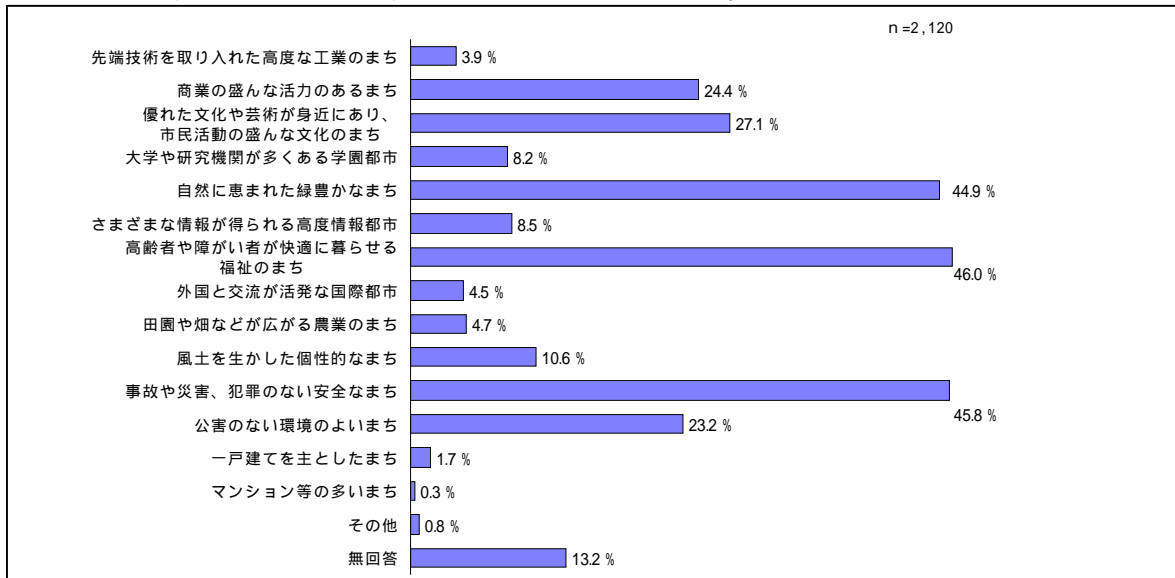
市のイメージと将来像について

市の将来像

「高齢者や障がい者が快適に暮らせる福祉のまち」が最も多い

「高齢者や障がい者が快適に暮らせる福祉のまち」が46.0%、「事故や災害、犯罪のない安全なまち」が45.8%、「自然に恵まれた緑豊かなまち」が44.9%などとなっています。

問 12 . あなたは、越谷市を将来どのような「まち」にしたいと思いますか。

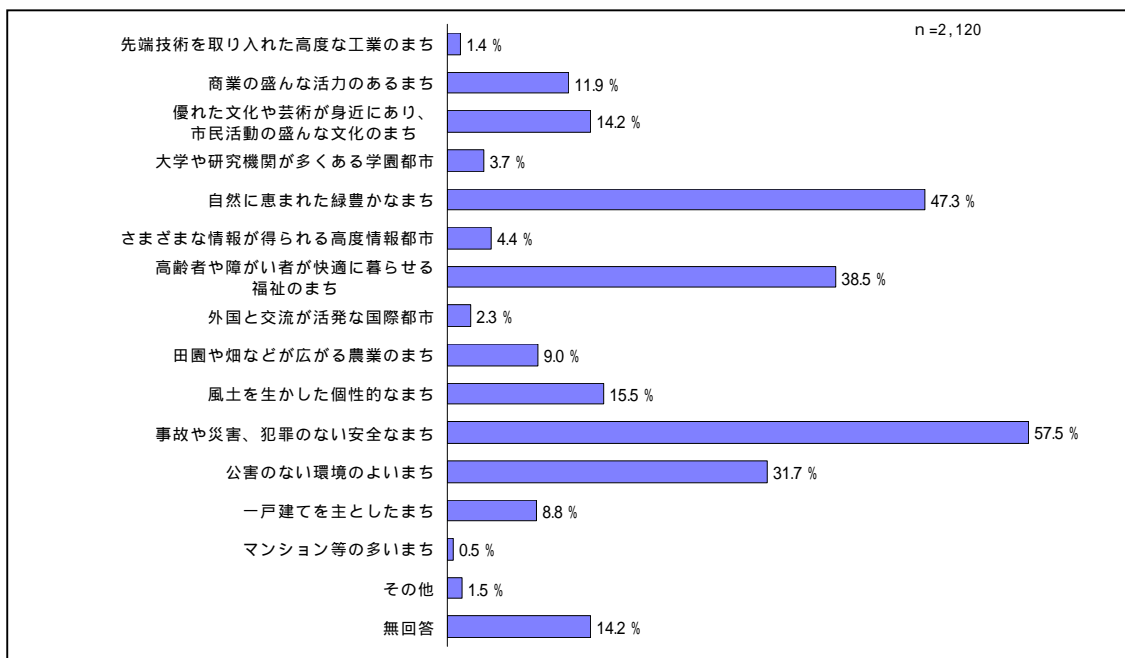


地域の将来像

「事故や災害、犯罪のない安全なまち」が最も多い

「事故や災害、犯罪のない安全なまち」(57.5%)が最も多く、6割弱に達しており、「自然に恵まれた緑豊かなまち」(47.3%)が次いで多くなっています。

あなたが住んでいる地域については、将来どのような「まち」にしたいと思いますか。



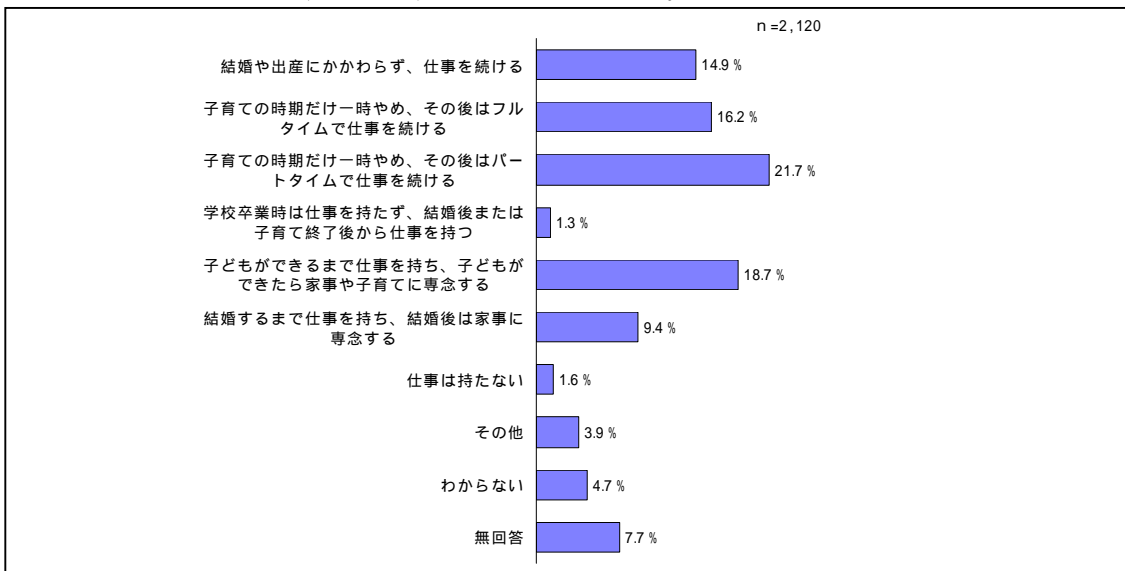
男女共同参画について

女性の理想的な働き方

「子育て中に中断し、その後パートタイムで復帰」が最も多い

「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける」が 21.7%、「子どもができるまで仕事をもち、子どもができたら家事や子育てに専念する」が 18.7%、「子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける」が 16.2%などとなっています。

問 13. 女性の働き方について、理想はどうあるべきだと思いますか。

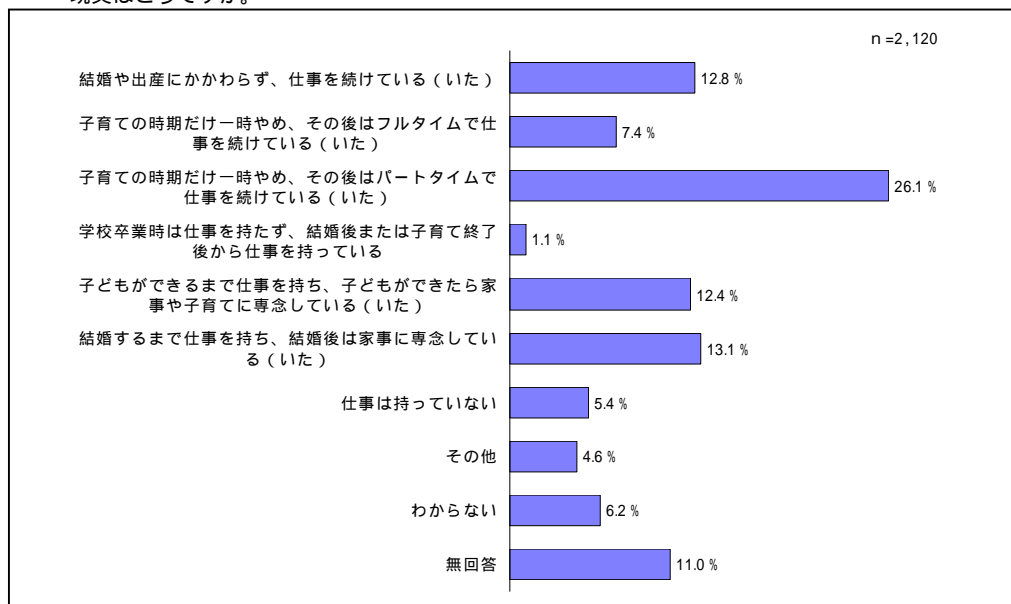


女性の現実の働き方

「子育て中に中断し、その後パートタイムで復帰」が最も多い

「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事が続いている(いた)」が 26.1%、「結婚するまで仕事を持ち、結婚後は家事に専念している(いた)」が 13.1%、「結婚や出産にかかわらず、仕事が続いている(いた)」が 12.8%などとなっています。

現実はどうですか。

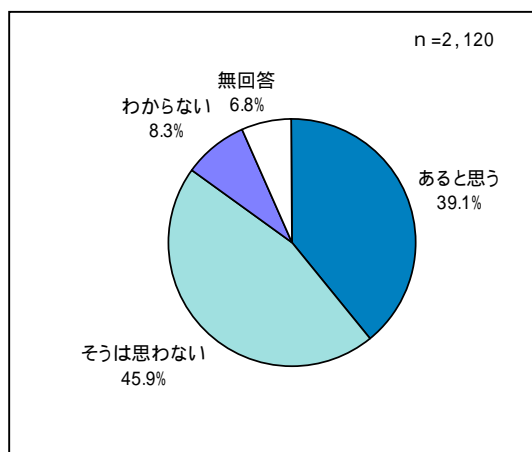


能力の男女差

能力差があるとは思わないという回答が最も多い

問 14. あなたは、仕事をしていく上で、能力に男女差があると思いますか(身体的な差を除く)。

「そう(ある)とは思わない」が 45.9%で、「あると思う」が 39.1%となっています。



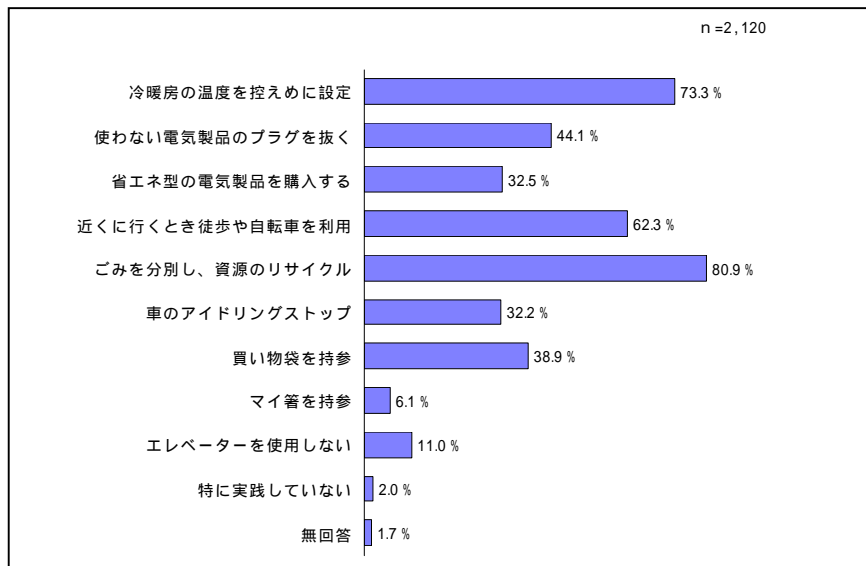
地球温暖化対策について

温暖化防止のための実践

「ごみを分別し、資源のリサイクル」が最も多い

「ごみを分別し、資源のリサイクル」が 80.9%、「冷暖房の温度を控えめに設定」が 73.3%、「近くに行くとき徒歩や自転車を利用」が 62.3%などとなっています。

問 19 . 現在、あなたが温暖化防止のために実践していることは何ですか。



職員の対応について

市の職員についての感想

勤務態度等については「ふつう」との回答が多い

〔電話での対応時に名乗ったかどうか〕については「気にしていないのでわからない」(43.8%)が、〔窓口対応時に名札がついていたかどうか〕では「はい」(50.7%)が、それぞれ最も多くなっています(無回答は除く)。

問 21 . あなたは、市の職員についてどのように感じていますか。

単位:%

質問内容	回答	割合	回答	割合	割合	
電話での対応時に名前は名乗りましたか	はい	31.2	いいえ	16.8	気にしていないのでわからない 43.8	
窓口での対応時に名札はついていましたか	はい	50.7	いいえ	3.2	気にしていないのでわからない 38.8	
態度はいかがですか	良い	14.3	ふつう	69.8	悪い	8.7
身だしなみはいかがですか	良い	13.2	ふつう	75.4	悪い	3.3
話し方は聞きやすいですか	聞きやすい	14.5	ふつう	70.1	聞きにくい	7.4
説明はわかりやすいですか	わかりやすい	15.0	ふつう	66.7	わかりにくい	10.5

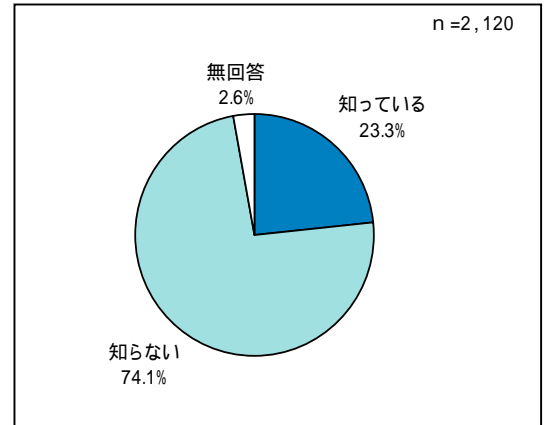
越谷市健康づくり行動計画「いきいき越谷21」について

越谷市健康づくり行動計画「いきいき越谷21」の周知度

「いきいき越谷21」を「知っている」は4人に1人と周知度が低い

問 22. あなたは、越谷市健康づくり行動計画「いきいき越谷21」を知っていますか。

「知らない」が74.1%、「知っている」が23.3%となっています。

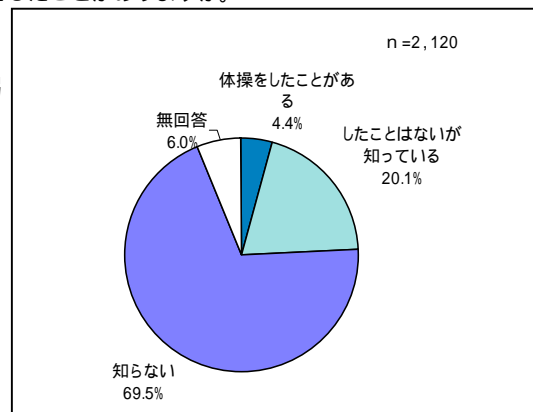


「いきいき越谷健康体操～ハッポちゃん体操～」の普及度

「ハッポちゃん体操を知っている」という回答がおよそ25%を占める

問 23. あなたは、「いきいき越谷健康体操～ハッポちゃん体操～」をしたことがありますか。

「いきいき越谷健康体操～ハッポちゃん体操～」については、「知らない」(69.5%)が最も多く、全体の7割弱を占めており、「したことはないが知っている」(20.1%)を50ポイント近く上回っています。



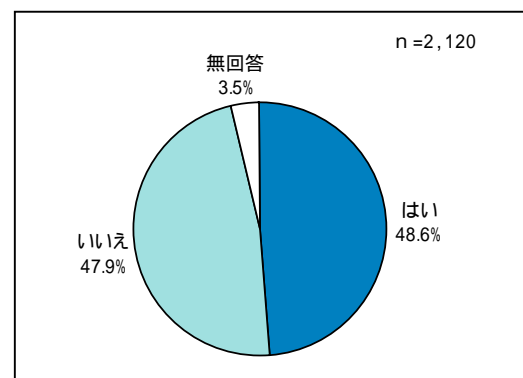
住宅用火災警報器の設置に関することについて

住宅用火災警報器の設置状況

住宅用火災警報器を設置しているという回答が最も多い

問 27. あなたの住宅は、住宅用火災警報器を設置していますか。

住宅用火災警報器を設置している人が48.6%、設置していない人が47.9%となっています。

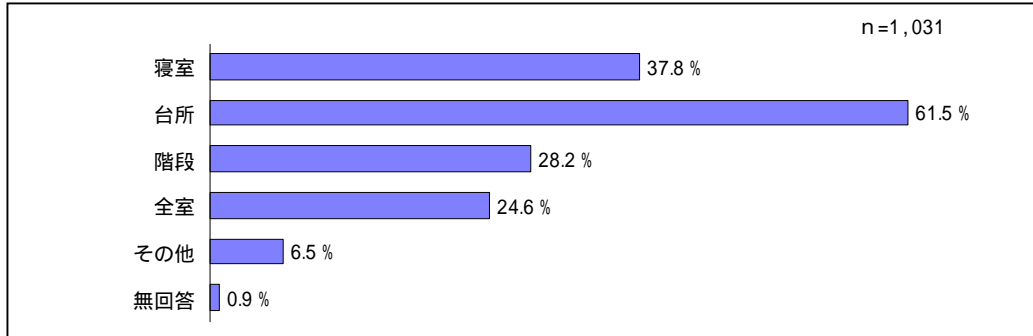


設置場所について

住宅用火災警報器の設置場所について、「台所」の回答が最も多い

設置場所については、「台所」(61.5%)が6割を超え突出して多くっており、「寝室」(37.8%)が続いています。

問 27-1 . 問 27 で「1」と答えた方に伺います。住宅用火災警報器は、どの場所に設置していますか。



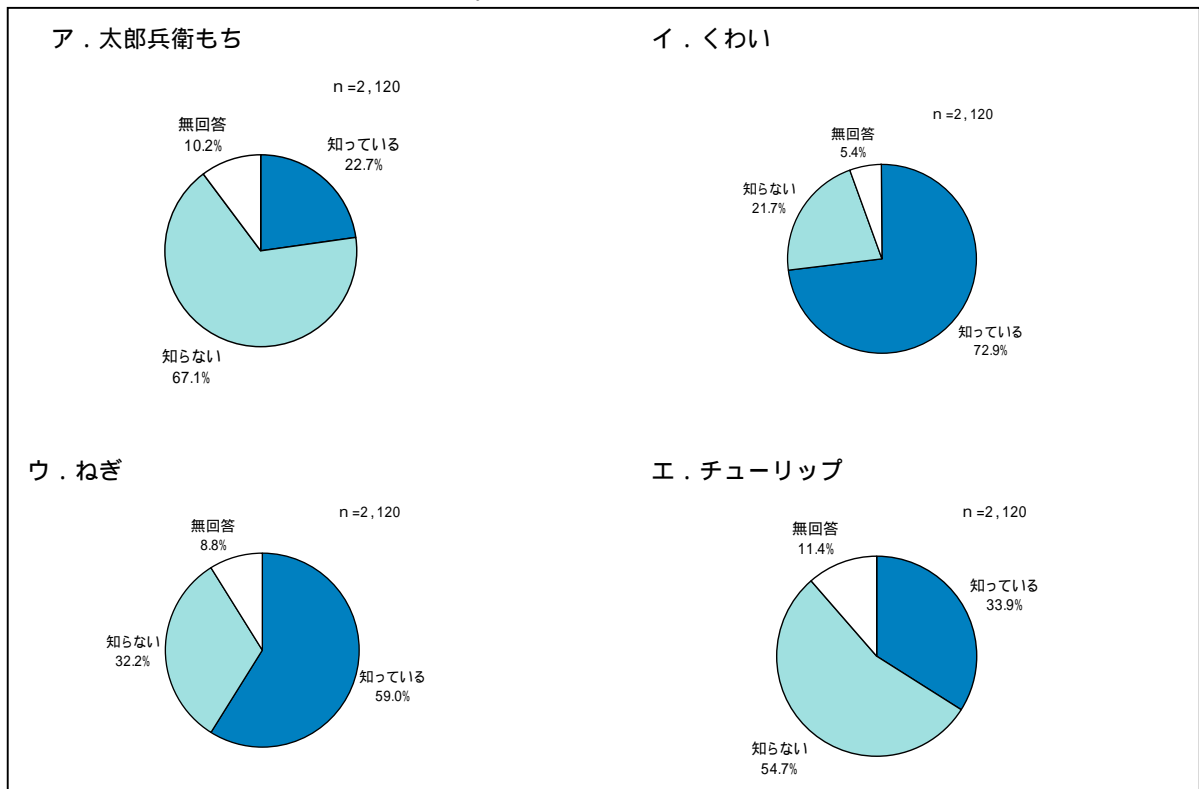
越谷の農業特産物について

農業特産物の認知度

「くわい」と「ねぎ」については「知っている」という回答が最も多い

「太郎兵衛もち」を知らない人は 67.1%で、知っている人は 22.7%となっています。「くわい」を知っている人は 72.9%で、知らない人は 21.7%となっています。「ねぎ」を知っている人は 59.0%で、知らない人は 32.2%となっています。「チューリップ」を知っている人は 33.9%で、知らない人は 54.7%となっています。

問 28 . 越谷の農業特産物を知っていますか。



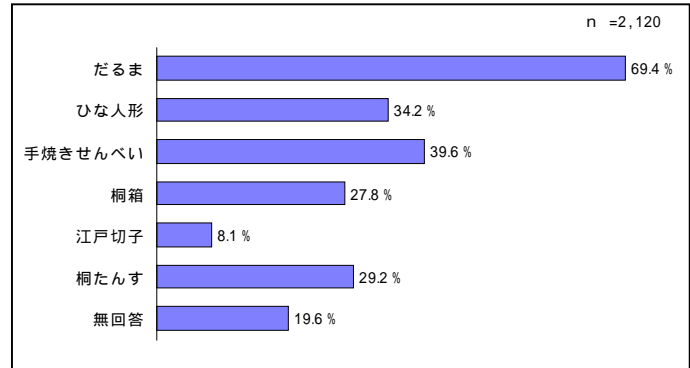
越谷の物産・観光について

越谷の伝統工芸品

伝統工芸品の「だるま」を知っているという回答が7割弱を占めて多い

問 31. 越谷の伝統工芸品を知っていますか。

「だるま」(69.4%)が7割弱を占め突出して多くなっており、「手焼きせんべい」(39.6%)、「ひな人形」(34.2%)が続いています。

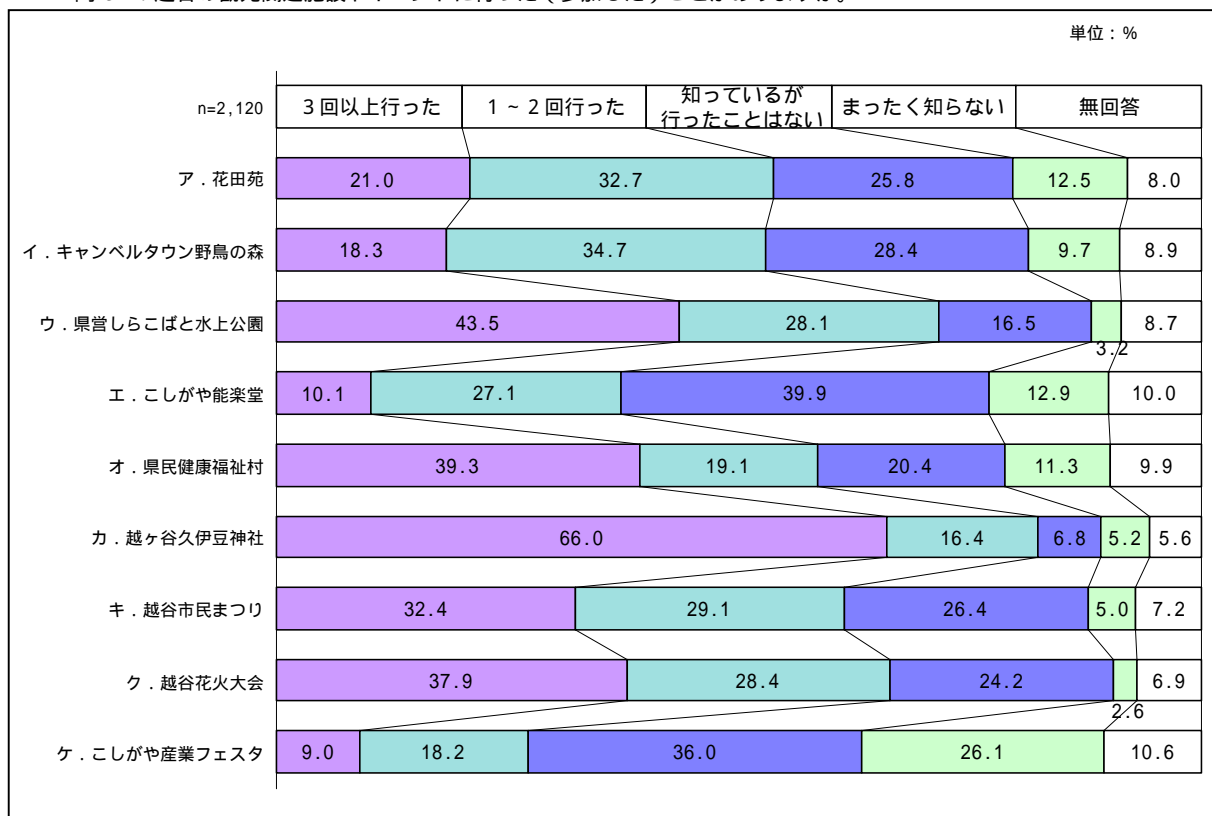


観光関連施設やイベントへの参加

参加が比較的多いのは、越ヶ谷久伊豆神社、県営しらこぼと水上公園

観光関連施設やイベントに行った(参加した)経験については、1回以上行ったことがあるとした回答が比較的多いのが〔越ヶ谷久伊豆神社〕、〔県営しらこぼと水上公園〕であり、行ったことがないという回答が比較的多いのが〔こしがや産業フェスタ〕、〔こしがや能楽堂〕となっています。

問 32. 越谷の観光関連施設やイベントに行った(参加した)ことがありますか。



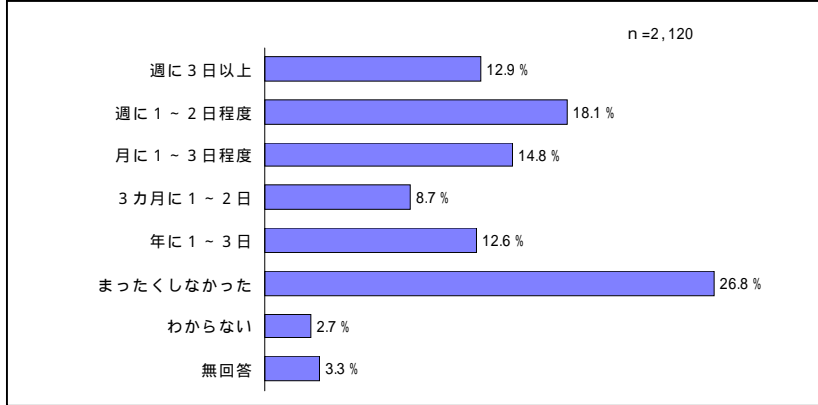
スポーツ・レクリエーションの実施状況について

実施の頻度

運動やスポーツ・レクリエーションを「まったくしなかった」が最も多い

1年間の運動やスポーツ・レクリエーションの実施状況については、「まったくしなかった」(26.8%)が最も多く、「週に1～2日程度」(18.1%)が続いています。

問 33 . あなたは、この1年くらいの間に運動やスポーツ・レクリエーションをどのくらい行いましたか。



越谷市の施策について

よくなってきたと感じるもの

「駅周辺の整備」が4割台

「よくなってきたと感じるもの」については、「駅周辺の整備」(40.8%)が4割を占め最も多く、以下、「バス路線等公共交通網の充実」(34.4%)、「ごみ・し尿の処理対策」(26.9%)が続いています。

居住地区別にみると、増林地区で「バス路線等公共交通網の充実」が6割を占め突出して多くなっています。桜井地区・増林地区・出羽地区・越ヶ谷地区・南越谷地区で「バス路線等公共交通網の充実」、新方地区・大袋地区・荻島地区・蒲生地区・川柳地区・大相模地区・大沢地区・北越谷地区で「駅周辺の整備」が最も多くなっています。

問 35 . 市では様々な施策を進めておりますが、ここ数年のうちで「よくなってきたと感じるもの」を、次の中から5つまで選び、下の 内に番号をご記入ください。

市の施策の評価（居住地区別）

単位：%（上位3位まで）

	1位	2位	3位
全体（n=2,120）	駅周辺の整備 40.8	バス路線等公共交通網の充実 34.4	ごみ・し尿の処理対策 26.9
桜井地区	バス路線等公共交通網の充実 34.0	ごみ・し尿の処理対策 33.0	駅周辺の整備 29.2
新方地区	駅周辺の整備 30.3	バス路線等公共交通網の充実、 ごみ・し尿の処理対策 25.8	交通安全対策 16.9

増林地区	バス路線等公共交通網の充実 60.7	公園や緑地の整備 29.5	ごみ・し尿の処理対策 27.7
大袋地区	駅周辺の整備 33.6	ごみ・し尿の処理対策 28.7	バス路線等公共交通網の充実 20.6
荻島地区	駅周辺の整備 51.4	ごみ・し尿の処理対策 26.4	バス路線等公共交通網の充実 20.8
出羽地区	バス路線等公共交通網の充実 48.7	駅周辺の整備 44.9	ごみ・し尿の処理対策 24.7
蒲生地区	駅周辺の整備 50.4	バス路線等公共交通網の充実 31.5	ごみ・し尿の処理対策 22.6
川柳地区	駅周辺の整備 57.1	バス路線等公共交通網の充実 47.6	ごみ・し尿の処理対策 33.3
大相模地区	駅周辺の整備 38.1	バス路線等公共交通網の充実 37.1	ごみ・し尿の処理対策 27.8
大沢地区	駅周辺の整備 50.6	バス路線等公共交通網の充実 29.3	ごみ・し尿の処理対策 28.0
北越谷地区	駅周辺の整備 53.5	ごみ・し尿の処理対策 31.6	バス路線等公共交通網の充実 25.4
越ヶ谷地区	バス路線等公共交通網の充実 34.4	駅周辺の整備 33.7	ごみ・し尿の処理対策 23.4
南越谷地区	バス路線等公共交通網の充実 51.9	駅周辺の整備 51.4	ごみ・し尿の処理対策 28.1

特に力を入れるべきだと思われるもの

「防犯対策」が4割台

「特に力を入れるべきだと思われるもの」については、「防犯対策」(43.8%)が4割強を占め最も多くなっています。以下、「高齢者福祉の充実」(37.8%)、「地域医療や救急医療体制の整備」(32.6%)と続いています。居住地区別にみると、南越谷地区で「防犯対策」が5割強を占め突出して多くなっています。桜井地区・新方地区・増林地区・大袋地区・荻島地区・出羽地区・蒲生地区・川柳地区・大沢地区・越ヶ谷地区・南越谷地区で「防犯対策」、大相模地区と北越谷地区で「高齢者福祉の充実」が最も多くなっています。

問 35. 今後の市政の中で「特に力を入れるべきだと思われるもの」を、次の中から5つまで選び、下の 内に番号をご記入ください。

市の施策への要望（居住地区別）

単位：％（上位3位まで）

	1位	2位	3位
全体（n=2,120）	防犯対策 43.8	高齢者福祉の充実 37.8	地域医療や救急医療体制の整備 32.6
桜井地区	防犯対策、 高齢者福祉の充実 42.9	地域医療や救急医療体制の整備 36.3	水害や地震などの災害対策 25.5
新方地区	防犯対策 42.7	地域医療や救急医療体制の整備 37.1	水害や地震などの災害対策 34.8
増林地区	防犯対策 42.0	地域医療や救急医療体制の整備 32.1	高齢者福祉の充実 37.5
大袋地区	防犯対策 45.8	高齢者福祉の充実 35.3	地域医療や救急医療体制の整備 33.6
荻島地区	防犯対策 40.3	自然保護や河川の汚濁防止などの環境保全対策 38.9	地域医療や救急医療体制の整備、 高齢者福祉の充実、 水害や地震などの災害対策 33.3
出羽地区	防犯対策 41.8	高齢者福祉の充実 32.9	地域医療や救急医療体制の整備 29.7
蒲生地区	防犯対策 42.6	高齢者福祉の充実 40.7	地域医療や救急医療体制の整備 防犯対策 33.0

川柳地区	防犯対策 50.0	地域医療や救急医療体制の整備 45.2	高齢者福祉の充実 42.9
大相模地区	高齢者福祉の充実 45.4	防犯対策 36.1	地域医療や救急医療体制の整備 29.9
大沢地区	防犯対策、 高齢者福祉の充実 40.2	地域医療や救急医療体制の整備 36.0	水害や地震などの災害対策 29.9
北越谷地区	高齢者福祉の充実 42.1	防犯対策 41.2	地域医療や救急医療体制の整備 33.3
越ヶ谷地区	防犯対策 47.9	高齢者福祉の充実 33.0	水害や地震などの災害対策 28.4
南越谷地区	防犯対策 51.9	高齢者福祉の充実 38.9	地域医療や救急医療体制の整備 34.1

平成 20 年度
市政世論調査結果報告書
概要版

発行日 / 平成 20 年 12 月
発 行 / 越谷市 秘書室 広報広聴課

〒343-8501 埼玉県越谷市越ヶ谷四丁目 2 番 1 号
TEL.048-963-9117 (直通)